

器楽専攻目次(下線部をクリックするとリンク先に飛びます)

1. 鍵盤楽器

<u>入学試験科目</u>	1
◇課題曲	
■ <u>ピアノ</u>	2
■ <u>ピアノ演奏家コース</u>	3
■ <u>ピアノ・創作コース</u>	3
■ <u>チェンバロ</u>	4
■ <u>オルガン</u>	4

2. 弦・管・打楽器

<u>入学試験科目</u>	5
◇課題曲 弦楽器	
■ <u>ヴァイオリン</u>	6
■ <u>ヴィオラ</u>	7
■ <u>チェロ</u>	7
■ <u>コントラバス</u>	8
■ <u>ハープ</u>	8
■ <u>クラシックギター</u>	8
◇課題曲 木管楽器	
■ <u>フルート</u>	9
■ <u>オーボエ</u>	9
■ <u>クラリネット</u>	10
■ <u>ファゴット</u>	10
■ <u>サクソフォーン</u>	10
◇課題曲 金管楽器	
■ <u>ホルン</u>	11
■ <u>トランペット</u>	11
■ <u>トロンボーン</u>	11
■ <u>バス・トロンボーン</u>	12
■ <u>チューバ</u>	12
■ <u>ユーフォニアム</u>	12
◇課題曲 打楽器	
■ <u>ティンパニ</u>	13
■ <u>小太鼓</u>	13
■ <u>マリンバ</u>	13

② 器楽専攻

鍵盤楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は④一般選抜概要 p. ii を参照のこと。

- ・ ケンブリッジ英語検定
- ・ 実用英語技能検定
- ・ GTEC(アセスメント版を除く)
- ・ IELTS(Academic)
- ・ TEAP
- ・ TEAP CBT
- ・ TOEFL iBT®

【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴 音：旋律聴音（8小節程度）・・・ 各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 大譜表による四声（密集）、8小節程度

【問題例】 G dur ト長調 $\frac{2}{2}$ 拍子 8小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）※オルガン志願者のみ

※すべて暗譜で演奏すること

（１）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を 1 回弾いた後に続けて旋律的短音階を 1 回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。

（２）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

6. 専攻実技

【ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース対象】

「対面式」と「非対面式(実技の動画審査)」から選択することが可能です。

非対面式を選択する場合、パソコン・スマートフォン・タブレットいずれかの機器が必要です。

※パソコンの場合は、カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。

※イヤフォンまたはヘッドフォンを用意してください。

課題曲

■ピアノ

⇒ 暗譜で演奏すること。

次の **a 課題** または **b 課題** を選択すること。

a 課題

（１） J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

（２） 次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 2 曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）

（イ）モシュコフスキー Op. 72

（ロ）クレメンティ

（ハ）チェルニー Op. 740（50 番練習曲）

（ニ）モシェレス

（ホ）ショパン Op. 10、Op. 25（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く）

（３）自由曲（5 分以上 8 分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲（12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ピアノ演奏家コース

⇒ 暗譜で演奏すること。

次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

- (2) ショパン『練習曲集』Op. 10、Op. 25 より任意の 2 曲（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く）

- (3) 次の①または②を選択すること。

- ① 次の（イ）～（ト）の練習曲集より任意の 1 曲

（イ）リスト

（ロ）ドビュッシー

（ハ）スクリャービン Op. 8、Op. 42、Op. 65

（ニ）ラフマニノフ Op. 33、Op. 39

（ホ）プロコフィエフ Op. 2

（ヘ）バルトーク Op. 18

（ト）リゲティ

- ② ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の楽章を 1 つ

- (4) 自由曲（12 分以上 15 分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲（25 分以上 30 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

■ピアノ・創作コース

- (1) ピアノ実技 次の a 課題または b 課題を選択すること。

⇒ 暗譜で演奏すること。

a 課題

- ① J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲を選択し、プレリュードまたはフーガのどちらかを演奏する。

- ② 次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 1 曲

（イ）モシュコフスキー Op. 72

（ロ）クレメンティ

（ハ）チェルニー Op. 740（50 番練習曲）

（ニ）モシェレス

（ホ）ショパン Op. 10、Op. 25（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く）

③ 自由曲（5 分以上 8 分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲（12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

（2）創作

自作の楽譜を 1 曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

■チェンバロ

（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』（第 1 巻、第 2 巻）から、任意のプレリュードとフーガを 1 曲

（2）D. スカルラッティの任意のソナタを 1 曲

（3）通奏低音

『クラヴィス』（現代ギター社刊）の p. 80-84 の練習 1～10 のうちから、当日指定されたものを、右手用のガイドなしで演奏する。

※いずれも暗譜の必要なし。

※楽器はフレンチ・モデル二段鍵盤チェンバロ（音域 FF～f3、8' 8"4、a1=415）

■オルガン

（1）J. S. バッハ『オルガン小曲集』（Orgelbüchlein BWV 599-644）から任意の 5 曲

（2）任意のオルガン曲 1 曲（コラール編曲以外の作品とする）

※暗譜の必要なし。

※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

弦・管・打楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は④一般選抜概要 p. ii を参照のこと。

- ・ ケンブリッジ英語検定
- ・ 実用英語技能検定
- ・ GTEC(アセスメント版を除く)
- ・ IELTS(Academic)
- ・ TEAP
- ・ TEAP CBT
- ・ TOEFL iBT®

【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴 音 旋律聴音（8小節程度）・・・ 各専攻共通1題および専攻別1題

和音聴音 ・ ・ ・ ・ ・ 高音部譜表による三和音、4小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験に合格した者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

（1）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。

（2）自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度を1曲または1楽章。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

6. 専攻実技

課題曲

弦楽器

■ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上(スラーは下記のC-durに準ずる)
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上(スラーは16分音符4個以上とする。1小節2弓でも可。下記の第6番参照)

第5番 $\text{♩}=60$ 以上



第6番 $\text{♩}=60$ 以上



(2) 練習曲

P. Rode、J. Dont (Op. 35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の1曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の1曲

(3) 任意の協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

■ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーとリズムは p. 6 の譜例に準ずる）
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする）

(2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』) から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

(3) 次の (イ) ~ (ニ) より任意の 1 曲

- (イ) Johann Christian Bach : 協奏曲ハ短調より 第 1 楽章
- (ロ) Carl Stamitz : ヴィオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章（カデンツァを含む）
- (ハ) Franz Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章（カデンツァを含む）
- (ニ) 上記の (イ) ~ (ハ) と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲（版の指定なし）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

■チェロ

(1) 音 階

任意の長調、短調を 4 オクターヴ（4 音を 1 弓で演奏すること）

(2) 練習曲

次の (イ) ~ (ハ) より任意の 1 曲

- (イ) D. Popper : Hohe Schule des Violoncellspiels, Op. 73（ポツパー : 40 の練習曲）
- (ロ) J. L. Duport : 21 études（デュポール : 21 の練習曲）
- (ハ) A. Schroeder : 170 foundation studies for violoncello, 2（シュレーダー : 170 の基礎練習第 2 巻）

(3) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

- (イ) 任意のソナタより第1楽章と第2楽章
- (ロ) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

■ハープ

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op. 92 より任意の第1楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

■クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の1曲

(2) 自由曲 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

課題曲

木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

M. Moyse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』) より 長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C) を演奏する。

♩ = 60 (譜例参照)



(2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op.21 (J. アンデルセン『24のエチュード 作品21』) より No.4, No.11

(3) W. A. Mozart : フルート協奏曲 第2番 二長調 K.314 より第1楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。演奏箇所は当日指定する。

※(3)の伴奏者は大学が用意する (楽譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始める。

■オーボエ

(1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op.31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) Nos.5-10
の中から当日指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

(1) 音 階

R. Eichler : Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci (Ricordi) より Nos. 16, 19, 22 の3曲。演奏箇所は当日指定する。

(3) C. M. v. ウェーバー: クラリネット小協奏曲 変ホ長調 作品 26 (カデンツァは演奏しない)。
前奏は Solo の3小節前より

※伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。

■ファゴット

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 1-15 より当日2曲指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 22-43 より任意の1曲

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

■サクソフォーン

⇒ アルト・サクソフォーンで演奏すること。

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から当日指定する。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォーンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc)) より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

(3) 自由曲1曲(編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

課題曲

金管楽器

共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。



■ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447 より 第1楽章（カデンツァなし）

※(2)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

■トランペット

(1) 分散和音

以下の音型を実音 B-dur で開始し、順次 E-dur まで下がること。暗譜。



(2) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante（華麗なる幻想曲）より主題と変奏曲 I、II、III

Arban's Complete Conservatory Method 所収

※(3)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。序奏なし。〔使用楽譜〕J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No. 3 (ISR Collection, 全音楽譜)

■トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No. 8

(3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード（トロンボーン）』（全音楽譜）より No. 15、No. 40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■バス・トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (G. Fischer) より

Nos. 5、23、25

※暗譜の必要なし。

■テューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) G. Kopprasch : 60 Selected Studies (R. King Music) Nos. 12、14、16、20、22

M. Bordogni : 43 bel canto studies (R. King Music) Nos. 1、4、7、12、14

以上の中から当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。

(3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)

※暗譜の必要なし。伴奏なし。

■ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone の Nos. 3、4、5 より当日指定する。

(3) J. B. Arban : Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) Arban' s Complete Conservatory Method 所収

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』 No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

課題曲

打楽器

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

■ティンパニ

- (1) ロール $pp \longleftarrow ff \longrightarrow pp$ Es(変ホ) (30 秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 19、26、39、40、43、44 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) 小太鼓による 2 つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (5) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■小太鼓

- (1) 2 つ打ち、ロール $pp \longleftarrow ff \longrightarrow pp$ (30 秒以上) (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm の Nos. 1、4、12、13、31 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■マリンバ

- (1) 3 オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より XV (15 番)。
- (3) 自由曲 (伴奏なし)
- (4) 簡単な初見演奏
- (5) 小太鼓による 2 つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)